

ゼミサポート制による情報リテラシー教育の 展開

丸山, 悟 / MARUYAMA, Satoru

(出版者 / Publisher)

法政大学図書館事務部

(開始ページ / Start Page)

1

(終了ページ / End Page)

13

(発行年 / Year)

2007-12-01

2007 年度第 5 回法政大学FD シンポジウム

「大学図書館と学習支援サービスの展開」

開催日：2007 年 12 月 1 日（土）

場所：法政大学ボアソナードタワー26 階スカイホール

ゼミサポート制による情報リテラシー教育の展開

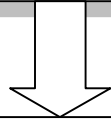
法政大学図書館事務部

丸山 悟

目次

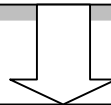
- 1 大学図書館による学習支援の意義
- 2 法政大学図書館の学習支援
- 3 ゼミサポート制による情報リテラシー教育
- 4 実績と統計上の成果
- 5 課題と役割
- 6 付属資料

教育理念：自立型人材、Career Power の育成



自立型人材、Career Power のある学生とは

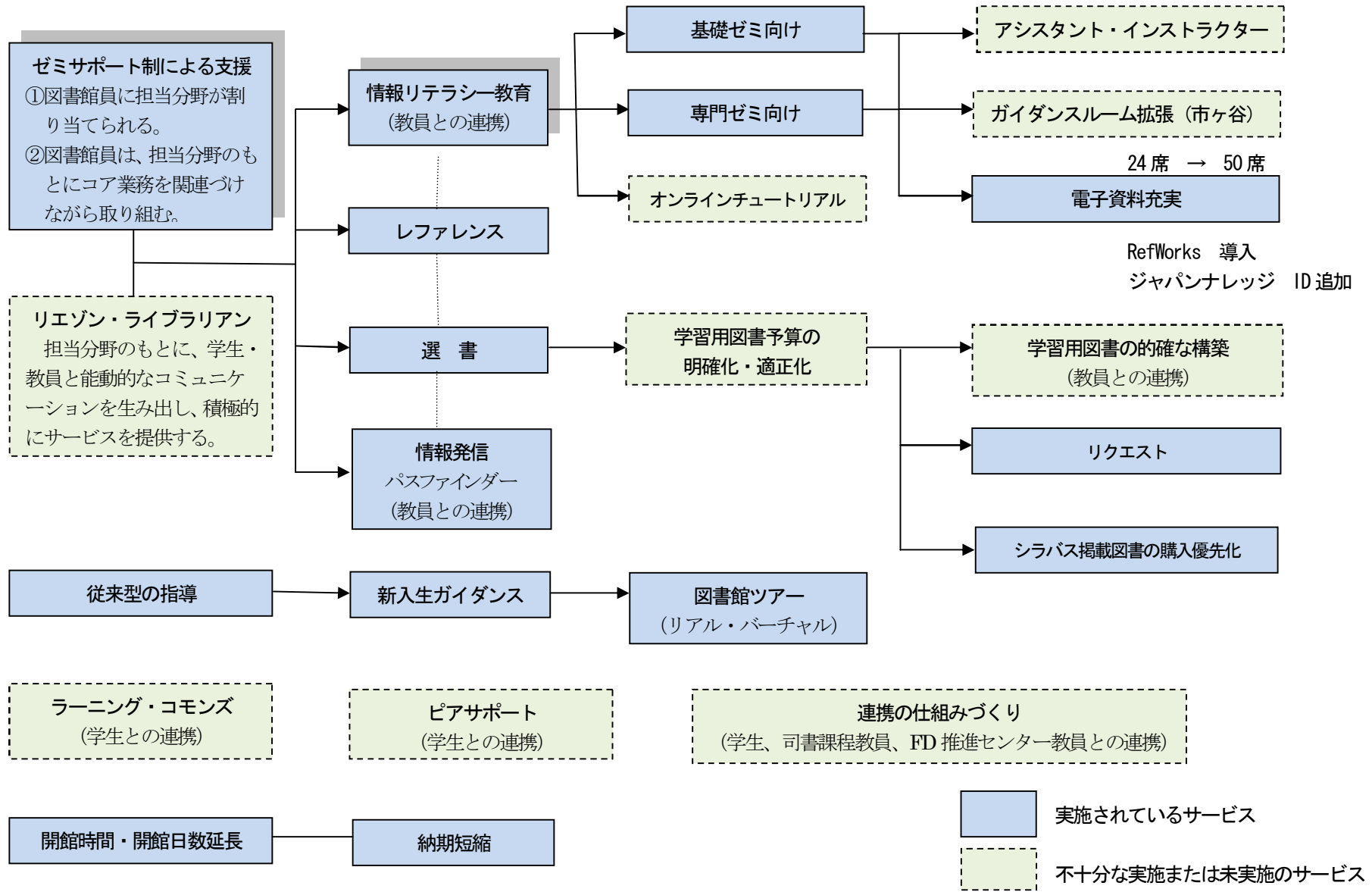
自らが課題を発見し、課題を解決するために、資料・情報を的確に収集し、整理し、分析し、考えをまとめ、発表できる学生。



図書館によるサポートの意義とは

学生が資料・情報を的確に収集し整理する過程において、図書館員は教員が持ち合わせていない知識・技能・素養を生かして、積極的にサポートすることにより、いっそう高い教育効果をあげることが期待できること。

2 法政大学図書館の学習支援



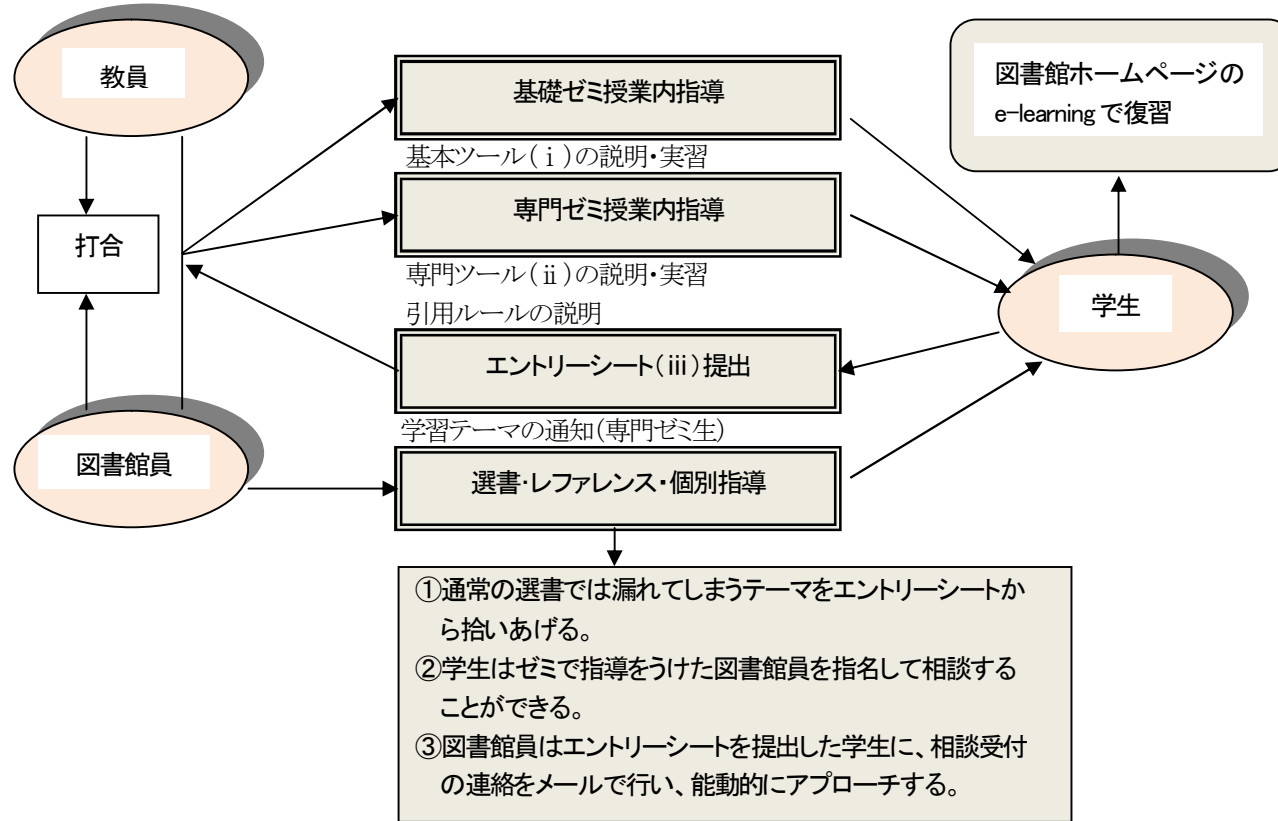
3 ゼミサポート制による情報リテラシー教育

図書館員の担当分野割り当て

市ヶ谷図書館：①法律系 ②政治系 ③文学系 ④哲学系 ⑤歴史系 ⑥経営系 ⑦教育系 ⑧心理系 ⑨社会系 ⑩世界の地域系 ⑪理工系

多摩図書館：①経済系 ②社会系 ③福祉系

小金井図書館：研究室ごとにサポート



図の注

基本ツール (i) : コンテンツの内容 ①オンライン目録 (OPAC) ②百科事典データベース ③新聞記事データベース ④雑誌記事データベース ⑤グーグル ⑥著作権

専門ツール (ii) : 基本ツールのコンテンツをもとにして、参考図書・専門的データベースを加えるなど、教員ごとにカスタマイズ

エントリーシート (iii) : 学生が学習・研究テーマを図書館へ告知する用紙。図書館員は、このシートを選書や学生への個別指導に役立つ。

4 実績と統計上の成果

(1) 実績

a. 多摩図書館の実績

年度	基礎ゼミ向け文献探索ガイダンス				専門ゼミ向け文献探索ガイダンス			
	実施ゼミ数	ゼミ総数	実施率%	参加者数	実施ゼミ数	ゼミ総数	実施率%	参加者数
2004	50	73	68	1,266	38	156	24	612
2005	55	72	76	1,508	28	153	18	391
2006	53	72	74	1,511	28	151	19	439
2007	62	80	78	1,845	27	153	18	414

(注1) 多摩図書館では、2004年度からゼミサポート制による情報リテラシー教育が始められた。(注2) 2007年度は2007年11月16日現在の集計値である。

b. 市ヶ谷図書館の実績

年度	基礎ゼミ向け文献探索ガイダンス		専門ゼミ向け文献探索ガイダンス	
	実施ゼミ数	参加者数	実施ゼミ数	参加者数
2004	31	888	*	*
2005	57	1,315	*	*
2006	89	1,877	*	*
2007	90	1,900	56	970

(注1) 2006年度までは基礎ゼミを中心にして実施されていたため、すべてを基礎ゼミとして集計した。(注2) 市ヶ谷図書館では、2007年度後期からゼミサポート制による情報リテラシー教育が始められた。(注3) 2007年度は2007年11月16日現在の集計値である。

c. 小金井図書館の実績

年度	基礎情報科目授業内ガイダンス		研究室サポート制ガイダンス	
	実施教室数	参加者数	実施研究室数	参加者数
2004	*	*	(3)	(25)
2005	*	*	(4)	(115)
2006	*	*	(4)	(135)
2007	6	582	9	128

(注1) 小金井図書館では、2007年度後期からゼミサポート制による情報リテラシー教育(小金井版)が始められた。(注2) 基礎情報科目授業内ガイダンスは、1年生を対象にした授業で、図書館としての位置づけは、文系学部の基礎ゼミに相当するものである。(注3) 2007年度は2007年11月16日現在の集計値である。

(2) 統計上の成果

a. 百科事典データベース・雑誌記事データベースのログイン数ランキング

「ジャパンナレッジ」ログイン数ランキング

ジャパンナレッジ		
第1位	A 大学	10,552
第2位	法政大学	10,290
第3位	B 大学	8,049
第4位	C 大学	3,383
第5位	D 大学	3,266

「マガジンプラス」ログイン数ランキング

マガジンプラス		
第1位	A 大学	56,664
第2位	B 大学	41,311
第3位	C 大学	35,629
第4位	D 大学	33,740
第5位	E 大学	30,400
第6位	F 大学	29,816
第7位	G 大学	24,495
第8位	法政大学	22,765

調査対象：全国の国公私立大学

調査年度：2005年度

留意事項：いずれもデータベースを選択（ログイン）した回数

出典：(株)ネットアドバンスからの情報提供

調査対象等は左表と同じである。

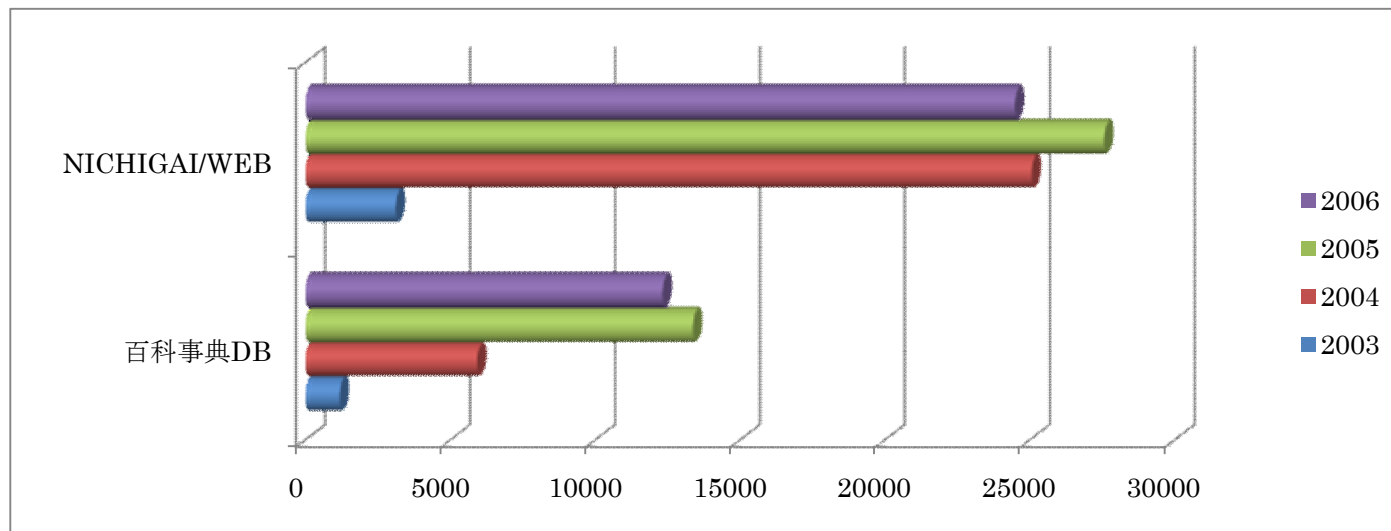
出典：(株)日外アソシエーツからの情報提供

b. 百科事典データベース・雑誌記事データベース利用の変化

データベース	2003	2004	2005	2006	備考
ジャパンナレッジ	*	3,584	9,674	9,652	ログイン数
ネットで百科	1,145	2,298	3,655	2,629	セッション数
百科事典DB 小計	1,145	5,882	13,329	12,281	
NICHIGAI/WEB MAGAGINPLUS BOOKPLUS who II	3,074	25,021	27,521	24,443	ログイン数
CiNi i	*	*	32,822	71,036	検索回数

出展：法政大学図書館年次報告書

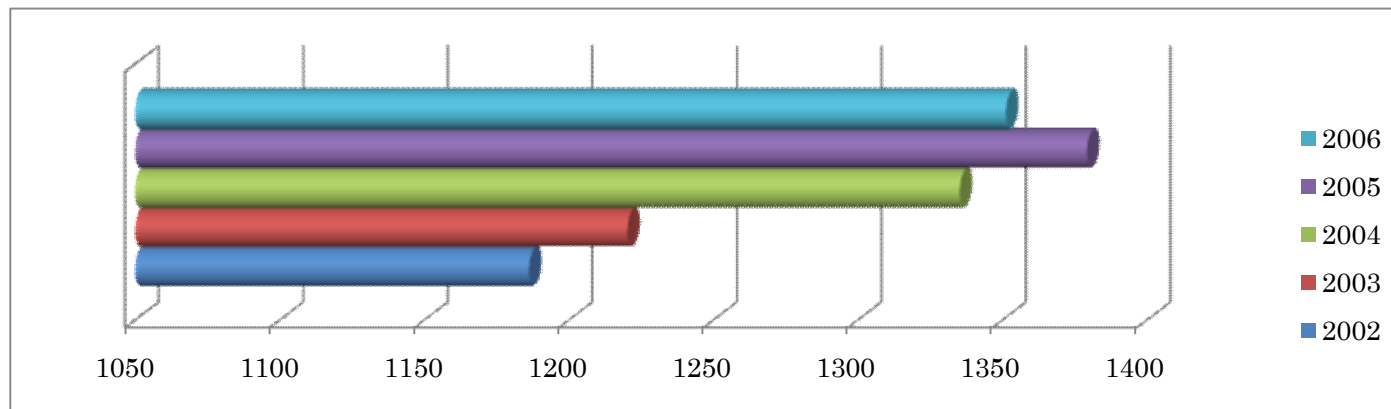
(注) ジャパンナレッジの2005年度ログイン数は、「ジャパンナレッジ」ログイン数ランキングの数値と異なっているが、理由は不明である。



c. 入館者数 (総数)

2002	2003	2004	2005	2006
1,186,021	1,220,510	1,335,991	1,379,660	1,351,345

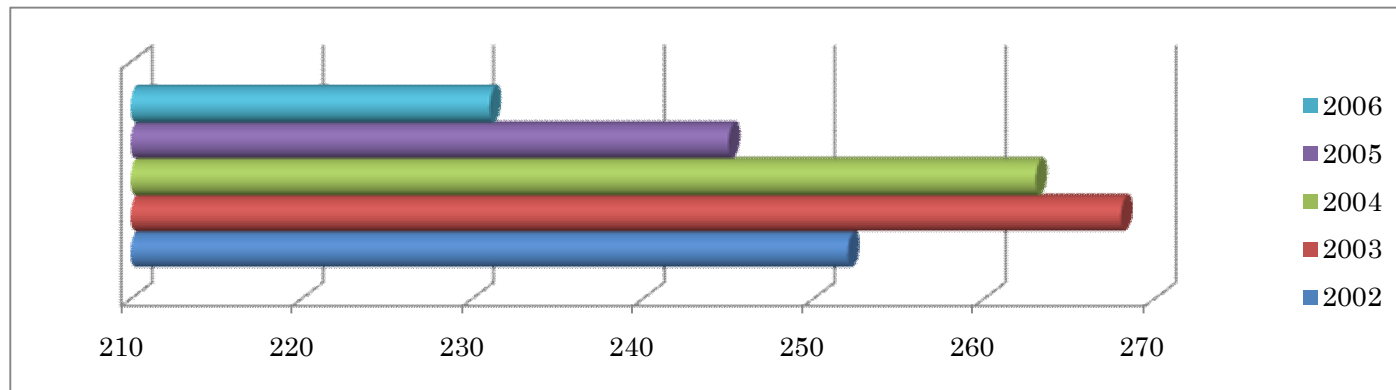
出展：法政大学図書館年次報告書



d. 貸出冊数 (学部生)

2002	2003	2004	2005	2006
252,088	268,177	263,674	245,851	231,183

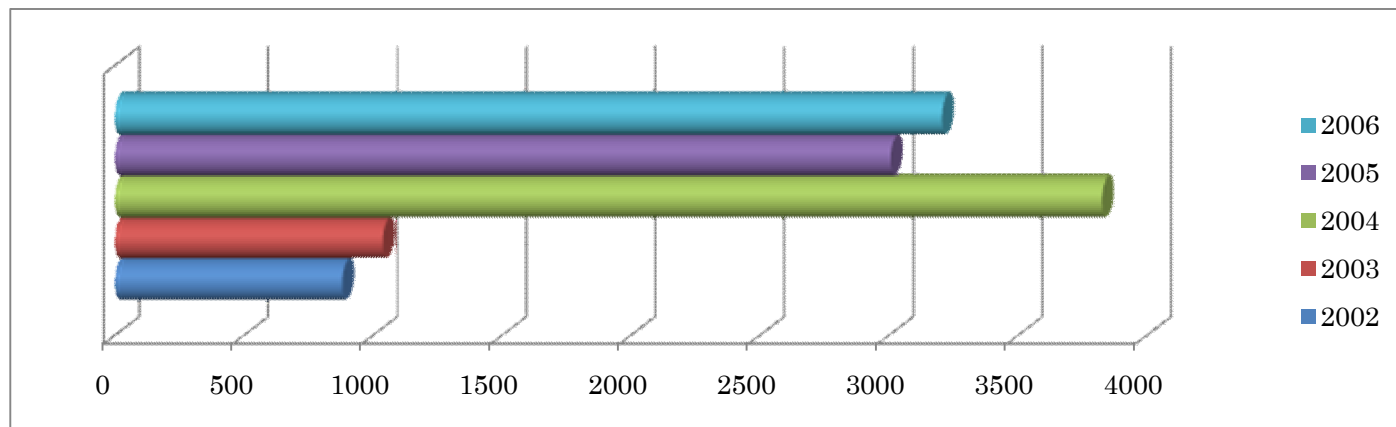
出展：法政大学図書館年次報告書



e. レファレンスサービス受付数 (学部生) 文献所在調査・事項調査・利用指導

2002	2003	2004	2005	2006
876	1,033	3,821	3,002	3,201

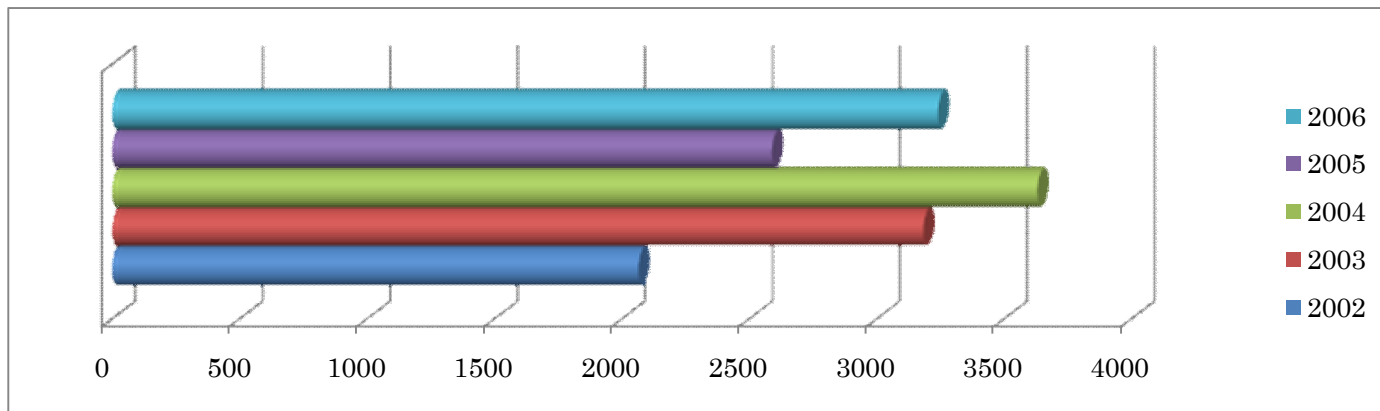
出展：法政大学図書館年次報告書



f. 共同読書室利用件数（市ヶ谷・多摩）

2002	2003	2004	2005	2006
2,059	3,177	3,625	2,583	3,235

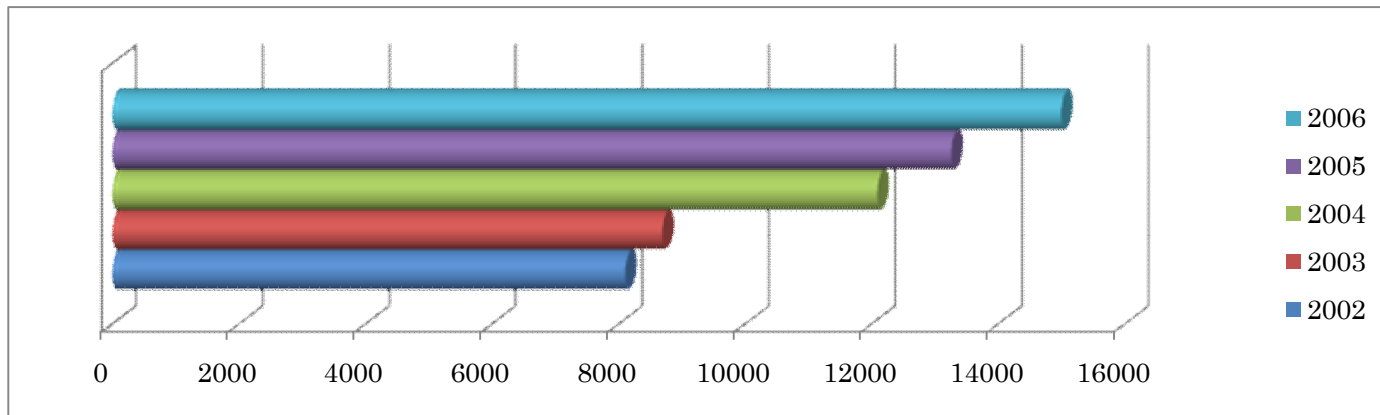
出展：法政大学図書館年次報告書



g. オンラインデータベースコーナー利用件数（市ヶ谷・多摩）

2002	2003	2004	2005	2006
8,080	8,665	12,066	13,234	14,971

出展：法政大学図書館年次報告書

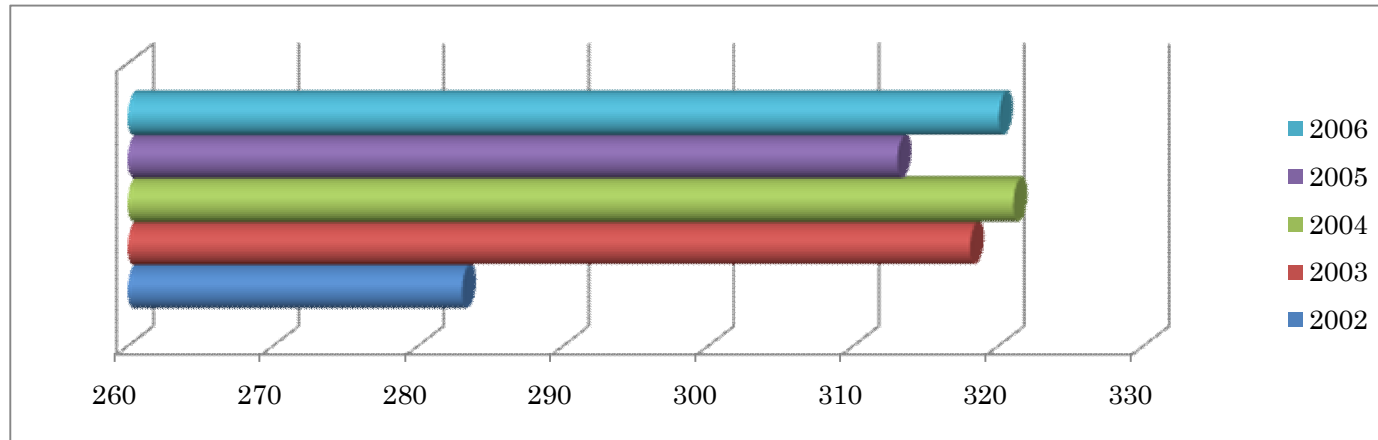


h. 開館日数（三館平均）

2002	2003	2004	2005	2006
283	318	321	313	320

出展：法政大学図書館年次報告書

（注）2005年度の減少は、総合的な資産図書蔵書点検を行ったためである。



5 課題と役割

1. ゼミサポート制による情報リテラシー教育の課題とは

- ①学部との組織的連携 (FDの一環として)
ひとりの教員としての受入 → 学部としての受入
- ②サポートの品質向上
図書館員が担当分野のサポート力をどこまで高められるか。
- ③成果の検証
ゼミサポート制による情報リテラシー教育を受けた学生と、
受けていない学生の能力差を実証できるのか。

2. 法政大学図書館の学習支援サービスの課題とは

- ①学習支援を行うという意志の予算・選書での明確化
- ②施設・設備と現代の学生が求めているものとのマッチング
(ラーニングcommons、ゾーニング)
- ③学生の声を聴く仕組みづくり
(アンケートだけにあらず)

3. FDにおける法政大学図書館の役割とは

- ①「変わる図書館」と「変わる授業」は、対応するものであり、
「変わる教員」へのサポートは、図書館の重要な役割である。
- ②変わる図書館とは
 - 図書館の都合優先 → 利用者の都合優先
 - 貸出・返却中心 → サポート中心
 - 消極的・受動的 → 積極的・能動的
 - 印刷資料の集積所 → 情報基盤
 - 一般的 → 個性的
 - 閉鎖的 → 開放的

6 付属資料

- (1) 「ゼミサポート制による情報リテラシー教育」の案内
- (2) ゼミサポート制 ガイダンス申込書（市ヶ谷基礎ゼミ用）
- (3) ゼミサポート制 ガイダンス申込書（市ヶ谷専門ゼミ用）
- (4) 研究サポートエントリーシート
- (5) ゼミガイダンス受講者アンケート
- (6) ゼミガイダンス教員アンケート
- (7) 読賣新聞記事写し（2007. 10. 20 Y&Y 進学特集）